

わが国の途上国への開発援助(ODA)は、開始以来半世紀を超えました。今日までに技術協力の専門家や青年海外協力隊員を主に、近年はシニア・ボランティアも加わり、12万人を超える方々が国際協力に参加し、現地活動を続けてきました。日本からの要員の派遣だけでなく、ODAによって来日した途上国の研修員や招かれた青年たちは36.5万人に達します。これらの人々の往来・交流・貢献によって途上国の人造り、国造りが着実に成果を上げてきました。

しかしながら、先進諸国の中でトップのODA実績を続けてきたわが国は、今世紀に入ると国の財政上の問題や政策課題の変動などから減退の一途をたどっています。昨2007年の実績が主要欧米諸国に抜かれて第5位にまで落ち込んだことは誠に残念でなりません。

一方、途上国の現状は依然として貧困の解消や保健医療の改善からはほど遠く、世界の情勢は戦争や紛争、テロの続発に加え、地球規模の課題である地球温暖化、水不足をはじめ、新たな局面といえる原油や食料の大幅な値上がり等々、国際的な取り組みを必要とする困難な諸問題が山積しています。

このような経過と現状を考えると、国内におられる多くの国際協力経験者の知識と技術を一層多岐にわたって役立てていくことが極めて重要と思います。よりよい世界をつくるために役立ちたいと考える経験者が、旧交を温めながら、互いに学びあい、新しいことを企画し、これからの国際協力を担う若い人々に協力現場での体験を伝えていくことが求められていると痛感しています。

その実行の「場」として、ここにささやかながら『国際協力サロン-Together』を開くことにいたしました。この趣旨にご賛同いただき、多くの方々にご活用いただきたいと願っております。

2008年5月

代表 吉満 博

1. 国際協力に携わってきた経験者とこれから国際協力を担う人々が「共に語らい」「共に行動する」場、
＜国際協力サロン＞の常設
2. 国際協力活動経験の社会還元を目指す個人又は団体に対する事務所機能の支援
3. 国際協力活動への参加を志望する人々に対する相談、カウンセリングの実施
4. 開発途上国支援に関する情報の提供、啓発
5. 国際協力に関する講演会、勉強会の開催
6. 国際協力活動経験者による出版物・研究実績等のインベントリー作成、広報
7. 国際協力支援に係る出版物の発行、編さん
8. 在住外国人を対象とする実用日本語講座の開催
9. 国際協力活動スキル強化のための各種講座、研修・講習会の開催
10. その他、本会の目的達成に関わる調査・研究及び各種事業の企画、実施